

授業概要

社会教育および学校教育で用いられる情報メディアの基本的な理解を目指して講義します。
近年の情報通信技術の発達により成立・普及してきたデジタル情報メディアを中心に、それぞれの基本的理解、そして教育とのかかわりについて、技術的および社会的観点から考えていきます。

授業計画

| | |
|------|---|
| 第1回 | イントロダクション |
| 第2回 | メディアとコミュニケーション |
| 第3回 | 情報メディアの歴史 |
| 第4回 | デジタル情報：アナログとデジタルの違い |
| 第5回 | 情報メディアの種類と特性のあらし |
| 第6回 | コンピュータの歴史と仕組み：コンピュータとはなにか |
| 第7回 | コンピュータの歴史と仕組み：種類と利用について身近なコンピュータを中心に |
| 第8回 | ネットワークの歴史と仕組み：デジタルコミュニケーションのネットワークとはなにか |
| 第9回 | ネットワークの歴史と仕組み：種類と利用についてLANとインターネットを中心に |
| 第10回 | コンピュータとネットワークの利用：情報検索 |
| 第11回 | コンピュータとネットワークの利用：ワールドワイドウェブ、電子メールなど |
| 第12回 | マスメディアとパーソナルメディア：マスメディア |
| 第13回 | マスメディアとパーソナルメディア：パーソナルメディア |
| 第14回 | 情報倫理と知的財産権 |
| 第15回 | まとめ：教育と情報メディアのいまとこれから |
| 第16回 | 筆記試験 |

到達目標

教育関連の職務につくことを前提に、次のことへの理解を目指します。
1) 現代社会と情報メディアの関係、2) パーソナルコンピュータやインターネットをはじめとする情報メディアの基本的な成り立ち、3) 教育における情報メディアの利活用。

履修上の注意

講義中の発言を歓迎します。質問や話題提供など、積極的な参加を期待します。
必要に応じて、PC教室やメディアセンターなどの学内施設を利用します。
司書教諭課程にあっては、省令科目である「情報メディアの活用」として扱われます。

予習・復習

授業時に次回利用する資料を指定します。事前に指定した情報資源を読んでおいてください。
毎回の講義でだされるアサインメントは、次回までに取り組んでおいてください。
講義中に出た新しい用語について、自ら説明ができるまで確認をしてください。

評価方法

期末テスト(60%・必須)と課題レポート(20%・必須)を主とします。それに授業への貢献(議論での積極的発言など)および自由提出のレポート(20%)を加え評価します。
履修者数が少ない場合、進行および評価方法を代えることがあります。

テキスト

(参考) 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編. 図書館情報学用語辞典. 第4版, 丸善出版, 2013, 284p., ISBN 978-4-621-08774-9.
その他授業中に印刷資料を配布します。